

あいち障害者センターNEWS(号外)

2026年2月

(講師派遣・研修版)

発行: NPO あいち障害者センター

センター「保育・療育講座」にかける私の思い

近藤直子

保育も療育も、子どもが楽しく世界を広げられるような生活を保障する営みです。

保育の保は「保護」の保。乳幼児期は子どもにとっては安全で安心できる生活が大事なので

「保護」が強調されているわけですね。療育の療は「治療」の療。「治療的保育」が療育ということになりますが、治療というのは「悪いところを治し軽減すること」を意味するので、保護者が「悪いところを治してくれるのが療育なのだ」と思ってもある意味仕方がないですね。

国連から日本は「医学モデルが強すぎる」と批判されたのは、子どもの言葉が遅い、集団からはみ出す、暴言や暴力が目立つといった姿を示す場合に、その要因を子ども自身の在り方に求め、丁寧な支援を受けるためには「医師の診断や意見が必要」という仕組みが前提となっていることも大きいと思っています。

1971年から障害のある幼児と関わってきた私はある意味で「我が国の療育機関成立過程と変遷」を実感して生きてきました。通う場が制度として無かった時代は、知的な障害のある幼児の存在は「隠されている」か「医学の研究対象」であり、権利主体としては位置づいていませんでした。1981年の「国際障害者年」に向けて重度障害児の義務教育も幼児期の療育も、そして保育所・幼稚園での「統合保育」も制度化されました。1978年の18か月児健診以降、3歳未満児への取組も進みました。しかし医師の診断が前提となる仕組みは「悪い所、うまくいっていない所」を診ることになるため、子どもの思いよりも「大人主体」となりやすく、現在も「集団への適応が進む」「椅子に座れるようになる」などといったことを標榜する事業所が多数存在します。

子どもの思いや願いを尊重する「子ども主体の取組」とはどのようなものなのか、コトバや身振り、表情などで思いを表すことが困難な子どもの「意見表明権」を尊重するとはどういうことなのか、職員集団で丁寧に話し合い考え合い創造する保育が療育なのだと、私は思っています。保育所や幼稚園の集団規模が北欧並みになり職員集団での話し合いが毎日もてる労働条件になれば、より「障害の重い」と言われる子どもも「気になる」と言われる子も保育所や幼稚園で楽しく生活しうると考えています。意見表明が見えにくい子どもについては、医療専門職や心理職などもまじえて生活の在り方を考え合い、体調の急変等に即時対応可能な療育の場の保障がまずは必要でしょう。

いまある保育・療育の仕組み自体を見直していくことも必要ですよね。大変な現場で働く皆さんの関心は、ともすると「どう働き掛けたらよいですか?」という質問に收れんしがちですが、親子が、そしてきょうだいや祖父母も、働く皆さんも、みんなが幸せに生きられるような「保育・療育の未来」を語り合うきっかけになれば嬉しいです。



近藤先生に学ぶ 保育と療育



こどもたちのステキさを 輝かせるために

2026年2月21日(土)
10:00~12:30

申込は、FAXまたはEメールにて、下記内容をお知らせください。

- 所属：①一般 ②個人賛助会員 ③センター団体賛助会員 ※参加費に関わるため、
- 参加方法： ①会場 ②オンライン(zoom) ※会場定員が12名のため
- お名前（ふりがな）：
- メールアドレス： ※添付文書が受けとれるメールアドレスを
- 住所： ※事業所等の住所を選択された場合は、事業所名まで
- 連絡できる電話番号（携帯電話）：

- 参加費：①一般 3000円 ②センター賛助会員 2500円
※センター団体賛助会員はお問合せください。

- 振込先：お申込み後、以下の口座に入金をお願いします。

①銀行口座：ゆうちょ銀行（9900）〇ハ九店（089）当座 0078563

②払込取扱票：00810-0-78563 ※払込取扱票用紙をご希望の方は連絡ください。

加入者名：特定非営利活動法人 あいち障害者センター

- ・送金手数料はご負担をお願いします。
- ・ご欠席時の払戻しは致しませんご了承ください。



あいち障害者センターの事業紹介



【出前講座】近藤先生の子どもの発達基礎講座

(1回コース・2回コース・3回コース)

近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」をテキストに、
1. 発達とは何か? 2. 乳児期の発達と「1歳半の節」
3. 2歳から3歳の自我の発達 4. 4歳、5歳のこころの発達
5. 学童期の発達などをテーマとし、子どもらしいかわいさを発見し、
子どもを応援できる手がかりとなるような発達の「学び」を願っています。



いくつになっても発達はある。発達の節目節目を見逃さないで。

発達保障の基礎、初任者研修におすすめ!

※テキストとして近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」の購入が必要。

【出前講座】近藤先生の気になる子の秘められた魅力

近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」をテキストに、
「保育室にいてくれない」「暴言・暴力が目立つ」偏食がきつい」
保育の場でよくあげられる、気になる行動の理由にせまつたら、
みんなと違って気になるところを魅力に変える手がかりがみえてくる。



保育者のみなさんへ、そして園長さんへのエールです。

※テキストとして近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」の購入が必要。

直子先生とママさん etc の

もやいカフェ 毎月第4木曜日予定

10:30~12:00

(開催日はお問合せください)

子育てママさん、ベテランママさん、保育士さん、誰でも大歓迎!

エッ!? なにがはじまるのかな? 「あるある」を共有するワイワイ雑談会です。



↓↓ おすすめ ↓↓



【出前講座】竹沢先生の障害のある仲間・子どものとらえ方講座

あいち障害者センターの事業紹介



「学び」を職員みなさんの共有の財産にするために、 あなたの事業所に伺います。

一緒に学びの場を作っていましたか。障害のある人が、住みなれた地域で暮らし続けられるための制度改正が進められてきています。日本が 2014 年に批准した国連・障害者権利条約は、障害者の「固有の尊厳、個人の自律（自ら選択する自由を含む）及び個人の自立を尊重すること」、「差別されること」、「社会に完全かつ効果的に参加し、及び社会に受け入れられること」等（第三条）を求めていました。しかし、障害のある人や家族への負担は増すばかりです。

こうした中で、障害のある人や家族とともに一歩でも前に歩める、障害者・障害児の日中活動や暮らしの場における支援の在り方や職員の力量のアップが求められています。

正規職員さんも非常勤職員さんも、関わるご家族も、ともに学習することで、「学び」を共有しませんか。

※あなたの事業所の学習の場をお手伝いします。

※講師派遣（講演）は、ご希望の内容をふまえ、講演内容を相談いたします。

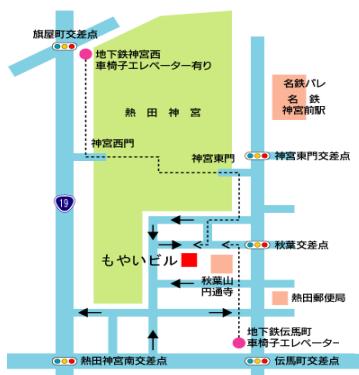
※センターにご協力いただいている多彩な方々が、成年後見、親の立場、当事者として、得意分野を語ります。

センターの応援団になってください。

■賛助会費：（法人・事業所・団体）年間 1 口 10000 円

■賛助会費：（個人）年間 1 口 2000 円

①郵便振替（払込取扱票） 00810-7-78563
②ゆうちょ銀行 ○八九店（089） 当座 0078563
特定非営利活動法人 あいち障害者センター



地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町」徒歩 7 分

名鉄本線「神宮前」徒歩 7 分

市バス「神宮東門」徒歩 7 分

※駐車場はありません。近隣のコインパークをご利用ください。

NPO あいち障害者センター

住所：名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話：052-682-7911 FAX：052-682-7916

メール：asc732@spa.nifty.com（講師派遣・研修用）

ホームページ：<http://www.npo-asc.jp/>